

## 2021 年をより確かな手応えある年に

新規感染者が一日 8,000 名にもものぼる爆発的拡大のコロナ禍で新年を迎えました。先がなかなか見通せず、首都圏や京阪神など大都市圏を中心に再び緊急事態宣言下の不自由な生活を強いられる状況が続きそうです。くれぐれもご自愛下さい。

「桜を見る会」問題を巡る国会答弁で118回もウソを繰り返した安倍前首相、わずか 41 日間の臨時国会中に 80 回以上も「答弁を差し控える」発言連発の『ガースー』菅新首相。どちらも誠実に国民に向き合おうとの姿勢など微塵も感じられません。

「科学的意見には耳をふさぎ、国会での議論では口をふさぎ、感染者の激増には目をふさいでいたが、支持率の急低下でうろたえている」と指摘する三木義一青学大名誉教授。

「政治の質が問われている。コロナのような事態は初めてなので政治家が間違ったり、展望を見誤ったりするのは避けられない。そういう失敗を各国の政治家がどう処理したかを見比べた場合、日本は最悪だった。自分の言葉で語れない、政治家自身のメッセージを発信できないという点で最悪だった」とダイヤモンド誌インタビューで述べる小説家村上春樹氏。

いずれの指摘も、幅広く意見を聞いて議論を重ねるとともに国民への説明を尽くすという民主主義の政治プロセスが完全に欠如しているという点にあります。



コロナ禍で種々の集まりや行動が大きく制限された昨年でしたが、痛快で画期的な成果があった年でもありました。9条改憲発議を許さなかったことはもとより、検察庁法改正を撤回させ、大阪都構想住民投票では事前予想を覆す逆転勝利、ウソと隠ぺい・内政・外交・コロナ対策で行き詰まった安倍首相を退陣に追い込むこともできました。さらに核兵器禁止条約発効に向けた快挙もありました。

今年は衆院選と東京都議選、またいくつか知事選が行われます。こうした選挙で市民と野党の共闘による大飛躍を実現し、平和と豊かさが実感できる 2021 年をさらに確かて手応えある年にしたいものです。

### 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名にご協力下さい

2017 年の国連総会で採択された核兵器禁止条約の批准国が 50 を超え 1 月 22 日に発効します。広島・長崎の被爆者をはじめ、「核兵器のない世界」を求める圧倒的多数の政府と市民が共同して取り組んだ歴史的成果です。昨年 12 月 7 日、国連総会はすべての加盟国の早期署名・批准を要請する決議を 130 カ国の賛成で採択しました。しかし、日本政府は唯一の被爆国にもかかわらず署名・批准を拒み、「核兵器保有国と非保有国の橋渡しをする」と従来の主張を繰り返すにとどまり、世界の流れに背を向け続けています。

日本政府に対し一日も早く核兵器禁止条約への署名・批准するよう、損保 9 条の会として署名に取り組むこととしました。日本興亜 9 条の会もこれに呼応して取り組みます。署名用紙 2 枚と返信用封筒を同封しますので、皆様の周りの方にも拡げていただけるようご協力をよろしくお願いいたします。

(返信に要する切手代は、誠に恐縮ですがカンパにてご負担いただけるよう、ご協力をお願いいたします)

# 損保9条の会 第17回講演会に91名が参加

昨年11月22日、東京北区の北とぴあペガサスホールで損保9条の会第17回講演会が開催されました。コロナ禍の下での開催であり、入場者を会場定員の半数に絞り、検温・消毒・マスク着用などの感染対策を講じたうえ、同志社大学大学院教授・エコノミストの浜 矩子氏がオンラインリモート方式で講演しました。参加者総数は91名。うち、日本興亜9条の会からは22名で東京・神奈川・千葉・埼玉をはじめ愛知・山梨・栃木といった遠方からもご参加いただきました。

不参加の方、もう一度聞きたい方は下記にアクセスしてください

- 損保9条の会ホームページ [「https://www.sompo9.org/」](https://www.sompo9.org/) (完全リニューアル済み)
- スマホからは「sompo9.org」だけでも検索可能

講演会終了後に例年開催している懇親会は、コロナ禍の下、会場の中華料理店のご厚意で貸切りかつ座席間隔を広くして、当会の11名に他支部の仲間も加え総勢19名で開催。冒頭に当会発足時の呼びかけ人であり9月に逝去された久保寛さんへの献杯を行った後、静かに交流を深めました。持ち込んだ日本酒2本は瞬く間に飲み切りました。

ひき続き戦争のない平和な日本と世界を実現するために、皆さんと一緒に取組みを進めていきたいと思えます。今年も5月3日(月・祝)憲法集会への参加、10月23日(土)損保9条の会第18回講演会開催(王子・北とぴあ)などを予定しています。皆様の参加をお待ちしています。

## 浜矩子氏講演「今、何をどう考え、どう見抜くか～下心政治の向こう側を目指して～」



### 講演テーマ・骨子

1. 菅総理が登場。所信表明にもあるよう「自助第一主義」の権力大好き男
2. 二つの下心政治を比べてみれば
3. アホでもスカでもない経済政策に求められるもの
4. スカノミクス親父の目と耳と手はどんな目と耳と手？
5. 弱肉強食の向こう側にあるもの
6. 真の共生社会はいずこに？

### 【参加者の感想 抜粋】

○安倍首相の「アホノミクス」からスガ首相の「スカノミクス」へ。僕ちゃん政治から奸佞(カネイ=心がひねくれて、ずるがしこく立ち回る)政治へとの話があった。「奸佞」は浜氏のご母堂の表現だそうだが初めて聞いた。その語彙力的的確さに感動。自分には「虎の威を借る狐」くらいしか思い浮かばない。

○「税金は無償の愛」という話がありましたが、そんな風に使ってもらえる税金なら納税のしがいあるけど、政党助成金などに使われたのでは憤慨するばかり。浜さんの講演は“口が悪い中にも愛がある”。

### 日本興亜9条の会の財政状況についてご報告します。

収入は全て皆さまからの貴重なカンパにより賄われています。一方、支出は会議室料や損保9条の会運営分担金、カンパ受取時の受取人負担手数料が若干ありますが、大部分は「たより」作成のための印刷費・用紙代・宛名シール代・封筒代・郵送料です。発行一回あたり4.5万円前後を要します。中でも郵送料が大半を占めるため一昨年の郵送料値上の影響を大きく受けています。

2018年4月以降、約28万円の現金カンパと約4.5万円分の切手カンパをいただきました。この間6号を発行しましたので、昨年末現在の残高は現金106,582円、保有切手32,188円の合計138,770円となっています。

今回発行分費用を差し引いても、まだ若干の余裕はありますが、早晚またカンパのお願いをせざるを得ないと存じます。その節はどうぞよろしくお願ひいたします。また、お手元に使用予定のない切手(額面がバラバラのものでも結構です)がある方は、ぜひカンパとしてご提供下さるようお願いいたします。